

平成 27 年度第 1 回
千葉市社会福祉審議会高齢者福祉・介護保険専門分科会
あんしんケアセンター等運営部会議事録

- 1 日 時 平成 27 年 5 月 28 日(月) 午後 7 時～午後 8 時 3 0 分
- 2 場 所 千葉中央コミュニティセンター 8 階千鳥・海鷗
- 3 出席者 (委 員) 畔上加代子、池田孝子、坂本広人、土屋稔、広岡成子
福留浩子、松崎泰子、和田和子、綿貫登美子
(委員 13 名うち 9 名出席) (敬称略)
(事務局) 高齢障害部長、高齢福祉課長、地域包括ケア推進課長、高齢施設課長
介護保険課長、地域包括ケア推進課長補佐、高齢施設課長補佐他 8 名

4 議 題

- (1) 平成 26 年度あんしんケアセンター運営事業実績について
- (2) 介護予防支援事業の委託について
- (3) 地域密着型サービス事業者の公募について
- (4) 地域密着型サービス事業者の指定等の報告について
- (5) 地域密着型サービス事業者の休止の報告について

5 議事の概要

議事に先立ち、会議の議題（5）は非公開、であることを確認した。

- (1) 平成 26 年度あんしんケアセンター運営事業実績について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (2) 介護予防支援事業の委託について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (3) 地域密着型サービス事業者の公募について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (4) 地域密着型サービス事業所の指定等の報告について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (5) 地域密着型サービス事業者の休止の報告について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。

6 会議経過

	<p>議事に先立ち、事務局より会議は議題5が非公開であることを確認し、その後、部会長が議長となり議事を進行した。</p> <p>～議題1 公開議事～</p> <p>平成26年度あんしんケアセンター運営事業実績について (富田地域包括ケア推進課長より、議題1 平成26年度あんしんケアセンター運営事業実績について説明を行った)</p> <p>議題1についての質疑応答</p>
松崎部会長	<p>総合相談のその他は、もう少し分類できるものなのか、まったく分類できるものではないのでしょうか。</p>
富田地域包括ケア推進課長	<p>その他の内容でございますが、多くは経済的なご相談が多く、その他にごみの出し方について、市での決まり事ですとか、結婚相談等、多種多様なご相談が寄せられていると聞いております。</p> <p>分類というのは難しい状況でございます。</p>
松崎部会長	<p>その他の中で、たとえば利用料の負担が高いといった経済的な悩みを持っている方がいると思います。生活保護ではなくて、介護保険絡みで生活含めての総合相談はあんしんケアセンターの役割ですので、その他がもう少し明確になったら納得できるかなと思いました。</p>
土屋副部会長	<p>ここに書いてあるのは、あんしんケアセンターが取り扱った件数ですが、高齢者人口とそれを除いた割合で比較すると実際こうなるという話がポイントだと思いますが、そのあたりはどうですか。</p>
富田地域包括ケア推進課長	<p>すみません。今のところそういった数字をつかんでおりません。今後は分析のポイントとして、その他の把握と件数や割合の出し方について、工夫をしてご報告をしたいと思います。</p>
土屋副部会長	<p>例えば認知症等に関することも3000件を超えていますが、高齢者そのものが増えていきますよね。</p>
富田地域包括ケア推進課長	<p>千葉市の高齢者人口は伸びております。ここ数年はデータが下がったことはありません。</p>

<p>松崎部会長</p>	<p>認知症の相談件数につきましては、非常に増えていると実感しております。これはあんしんケアセンターのみならず、相談コールセンターや認知症疾患医療センター等、様々な機能を持った相談機関があるにも関わらず、それぞれがかなりの数増えているという実感を持っております。</p> <p>あとはリピートでご相談をされる方も非常に増えていると感じます。一時的なご心配ではなく、進行に応じてお悩みも変わってきていると実感を持っております。そのあたりを分析してお示しできるように工夫をしてみたいと思います。</p> <p>各あんしんケアセンター毎の自己評価や実績報告もありますので、目をとおしておいていただきたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">～議題2 公開議事～</p> <p>介護予防支援事業の委託について (富田地域包括ケア推進課長より、議題2 介護予防支援事業の委託について説明を行った)</p> <p style="text-align: center;">議題2 についての質疑応答</p>
<p>松崎部会長</p>	<p>新しい委員さんもいらっしゃいますので、なぜ鴨川等の遠い居宅介護支援事業所へ委託となっているのか説明をお願いいたします。</p>
<p>富田地域包括ケア推進課長</p>	<p>千葉市の方で、例えば住所地特例というような形で遠い地域の施設をご利用になっている方もいらっしゃいます。その場合に、その方の状況がよくわかるということもありまして、お近くの事業所をお願いをしてプランを立てていただくということでもございます。市内だけに限って委託をするという状況にないということでもございます。</p> <p style="text-align: center;">～議題3 公開議事～</p> <p>議題3 地域密着型サービス事業者の公募について (八巻高齢施設課長より、議題3 地域密着型サービス事業者の公募について説明を行った)</p> <p style="text-align: center;">議題3 についての質疑応答</p>
<p>松崎部会長</p>	<p>これは、介護保険の次期計画中の平成27年度分として、地域バランスを考えた上での提案でよろしいでしょうか。</p>

八巻高齢施設課長	はい、そのとおりでございます。平成27年度分としてでございます。
松崎部会長	それでは、ただいまご説明いただきました地域密着型サービス事業者の公募についてですが、募集数、公募スケジュールをこのようにやっていきたいとのことですが、意見は無いということでしょうか。
土屋副部会長	今、千葉市社会福祉協議会の担当者へ、いわゆるヒートマップを作成するように指示しております。例えば小規模多機能居宅介護というのは、色々な機能を持っていると思います。例えば市内のこの地域に、同サービスを必要とする対象者がどのくらいいるのか、また、同サービスの空白地域はどこなのか、そのような地図を作成するように指示しております。見える化といいますか、可視化したものを作成しないと、やはりなかなか分からないと思います。ですから、情報を一緒に共有し、作成していければと思います。
八巻高齢施設課長	はい、ありがとうございます。
畔上委員	<p>以前、私が役所に対して言った事と同じことですね。やはり数字を可視化しなきゃだめだと思います。役所は資料を作成するのは下手だと思っているので、この間可視化されていることを褒めて言ったのですが。</p> <p>グループホームについてですが、以前はグループホーム単独での公募でしたが、今回は小規模多機能型居宅介護併設ということですが、小規模多機能型居宅介護というのはすごく大変な事業ですよ。その事業を無理やり併設という形で条件にしていますが、私の所にも事業を継続できるかどうかという問い合わせがあります。応募者多数の場合には、ヒアリングを実施とのことですが、募集事業者がいるのでしょうか。結構厳しいと思います。まして、県の基金が分からない状態で申込みするとなるとなさらだだと思います。</p>
八巻高齢施設課長	公募概要の公表は明日からですが、国から県への内示等はきている状態ですので、もうそう遠くない時期に詳細がくるかと思っておりますので、連絡がきた時点で公表させていただきます。
畔上委員	先ほど土屋副部会長が話したことを重ねて言うと、要するに可視化じゃないと手を挙げづらいということです。この地域にこういうサービスが必要だというのが分からない状態で手を挙げる事業者はいない訳なので、やはりきちんと分かるようにしないと手を挙げにくいと思います。ましてや、介護報酬が下がっている状況なので、継続してやれるかどうか非常に難しいところだと思います。そこは、市の方でわかるマップを作ってあげた方がよいと重ねて思います。

<p>鳩川高齢福祉課長</p>	<p>マップのお話がでたので、補足させていただきますが、ご指摘の通りだと思います。今後、介護保険制度の事業を行っていく中で、社会資源というのが非常に大事になると思います。施設系のみにかかわらず、地域住民がどこに自分の求めているサービスの資源があるかというのを示さないといけないと思います。その示し方も当然、圏域毎で示すのか区毎で示すのか、いろいろ考えなければいけないことなのですが、そういった部分を、ある程度事業化してでも、今後取り組まなければならないと考えております。</p>
<p>富田地域包括ケア推進課長</p>	<p>いろいろご指摘いただきありがとうございます。実は地域包括ケア推進課でも、役所内の状況をいろいろと調べております。都市のプラン、公園のプラン、跡地利用の資源、公的な資源の再生など、各部署でいろいろなマップを作成しております。ですが、範囲が中学校区毎のところもあればそうでないものもあるため、そういったものを揃えてすり合わせをしていく必要があると考えており、今年度庁内の勉強会なども立ち上げようと動いておりますので、いろいろご助言いただきながら作り上げていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>土屋副部長</p>	<p>市役所の統計課の皆さんが尽力されて作られたヒートマップというのがありますし、介護保険データというのは町丁別、介護度別に人数を把握してますよね。そういったものを合わせていくと、見事にできます。ですから、それはお互い共有しながら作っていったらと思います。</p>
<p>松崎部会長</p>	<p>良い御意見をいただけたかと思えます。生活圏域の中で、在宅生活を支えようということであれば、やはり地域の方の希望に沿ったサービスを整備できたら非常に良いと思えますので、是非考えていただければと思います。</p>
<p>松崎部会長</p>	<p>～議題4 公開議事～</p> <p>議題4 地域密着型サービス事業者の指定等の報告について (八巻高齢施設課長より、議題4 地域密着型サービス事業者の指定等の報告について説明を行った)</p> <p>議題4についての質疑応答</p>
<p>松崎部会長</p>	<p>ただいまご説明いただきました、事業者指定の報告でございました。</p> <p>初めに、指定の報告についてはよろしいでしょうか。それぞれ現地調査を行って、特に改善報告はなかったとの報告でございます。</p> <p>特になければ事業者の変更について、こちらはいかがでしょうか。</p>

<p>広岡委員</p>	<p>12ページの事業譲渡に伴う指定について、質問いたします。 これは、事業者が変更になるというのは、経営者が変わるということですね。</p>
<p>八巻高齢施設課長</p>	<p>はい。</p>
<p>広岡委員</p>	<p>その際に、職員の異動はあるのですか。というのは、やはり利用者への影響がすごく大きいと思います。グループホームプラチナ都の杜の経営者が、ヤックスから変わった際に、職員がとても異動して、落ち着かなかったという噂がありました。ですから、利用者の家族としては、そのようなことを非常に懸念するのです。今回の花笑も、経営者が変わって、職員の異動がどうなのかが疑問です。もし、職員が変わっているとしたら、監査は難しいと思いますが、何かしらの形で気にかけていただければと思います。そこがすごく心配です。</p>
<p>志賀高齢施設課主査</p>	<p>事業譲渡に伴います社員、介護職員等の異動があったとは聞いておりません。 このような譲渡が行われる場合には、利用者の福祉を図るという観点から、そのようなことはやらないようにという指導を常にしております。また、最近では譲渡後に大幅な変動があったという事例も聞いておりません。 職員の配置等につきましては、適宜さまざまな変更等の届出がありますので、その際には主には人数等の面からですけれども、チェックは入れておりますので、必要に応じて、場合によっては電話で問い合わせ等もしておりますので、今後も続けて参りたいと考えております。以上です。</p>
<p>畔上委員</p>	<p>最初の市内分のグループホームのことですが、医療法人から民間の会社が変わったという解釈でよろしいですね。</p>
<p>八巻高齢施設課長</p>	<p>はい。</p>
<p>畔上委員</p>	<p>今回のケースの場合、少し変わっていると思います。医療法人で働いている方は、基本的には民間とは形態が全く違うと思います。その辺りについては、あまり問題はなかったのでしょうか。また、グループホームの場合は協力医療機関という項目があると思いますが、従前経営者である医療法人は、現在も協力医療機関として絡んでいるのでしょうか。要するに、新しい事業者が神奈川県にあるので、心配ですけれども、大丈夫でしょうか。</p>
<p>八巻高齢施設課長</p>	<p>従前の事業者については、横浜、東東京エリアを中心に医療介護サービスの事業を展開していましたが、事業の見直しをする中で、千葉エリアの事業継続は厳しいという判断に至ったという理由での事業譲渡ということのようです。当初は、江戸川区葛西で同法人が展開する訪問看護事業所とセットで事業を考えていたようですが、距</p>

	離的に無理があったためとの事業譲渡の理由を聞いております。
畔上委員	江戸川区ですと遠いですね。医療法人から民間の会社への譲渡というのが気になります。現在、再編成が起こっているときなので、慎重にしないと利用者も働く方もとても大変だと思います。その辺りの情報をもう少し集めた方が混乱しないかもしれません。
八巻高齢施設課長	分かりました。今後の参考にさせていただきます。
松崎部会長	公募で選定され補助金等を受けている場合でも、事業者の移譲といたしますか、事業譲渡の際に、それは特に歯止めにならないのでしょうか。
八巻高齢施設課長	補助金を受けている場合には、やはりそう簡単に廃止されては困りますので、その点は返還も含めて考えております。
松崎部会長	率直のところ、事業譲渡というのは、売買みたいなものをするのでしょうか。
志賀高齢施設課主査	高齢者福祉の施策からは見えない世界ですけども、否定できないと考えております。千葉ではなかなか営業が成り立たないという経営的な判断から撤退するというような内々の話は、窓口で相談にきたときに受けておることは事実です。
松崎部会長	畔上委員、よろしいでしょうか。
畔上委員	事業を売ってくれないとか、そのような相談をされることがあります。医療法人から民間の会社にとというのは、すごく手続きが大変です。民間から民間に変わる訳ではないので、医療法に基づく手続きだとかそういったことが凄く縛りになりますので、珍しいケースという気がしました。
松崎部会長	民間事業者としては、事業の譲渡、売買、統合というのが今後十分にありえるかと思えます。その際に、千葉市としてどのように考え対応していくのか、何かあるのでしょうか。
八巻高齢施設課長	頻繁に事業者の変更があるのも困りますので、その辺りは今後検討していきたいと考えております。

	<p>～議題5 非公開議事～</p> <p>・・・非公開のため、発言内容も非公開</p>
<p>鳩川高齢福祉課長</p>	<p>審議ありがとうございました。今回は新しい委員さんもおられる中で説明をさせていただいたところですが、専門用語が多く定期巡回や看護の小規模だとか、わかりずらい点もあり、申し訳なかったのですが、この資料を持ち帰って見ていただいて、わからない部分等がありましたらお問い合わせいただければと思います。なかなか今日の中で質問もしづらかったと思いますので、問い合わせいただければ職員が対応しますのでよろしく願いいたします。</p>
<p>大木高齢障害部長</p>	<p>最後に土屋副部長さんからご意見を頂きましたヒートマップの作成について、社協さんのほうと協力し合って目の見える可視的な部分で委員の皆様にもわかっているよう検討していきたいと思います。</p> <p>また定期巡回の関係も常に事業所を増やしていくことも考えていますが、なかなか月額定額制という部分で報酬が得にくい、そういった部分ではサ高住的な部分で囲い込みとかがあってということもあると認めているようなところもございます。</p> <p>そういったところも含めて今後の審査の中で休止や廃止が無いように検討していきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>松崎部会長</p>	<p>申し訳ありません。新しい委員の方に対して説明があるかなと思いながら先に進めさせていただきました。なにかご要望があればおっしゃっていただきたいと思います。</p> <p>新しい地域包括ケア推進課について、いったいどういう課で、何を行うのか、どのような権限があるのか説明をいただきたいと思います。</p>
<p>富田地域包括ケア推進課長</p>	<p>地域包括ケア推進課は、もともと庁内で医療と介護の連携が非常に苦勞しているという経験がございました。保健福祉局の中で医療の関係は健康部が担い、介護の関係は高齢障害部が担っております。なかなか同じ土俵でいろいろなことを考えていこうとしても難しいというのが一番にあり、地域包括ケアシステムを構築していくにあたり、大事な柱の一つが医療と介護の連携であり、認知症の対策であり、総合事業についてはもっと幅広く考えなくてははいけません、まずは庁内で医療と介護の連携がスムーズにいくように何かできないということで、組織の改正を考え始めたのがもともとのところでもございました。</p> <p>地域包括ケア推進課は保健福祉局の局直下の課として、どちらの部にも属さない立場で新設をされました。課の構成といたしましては、医療政策班と地域包括支援班の2つの班から成り立っております。</p> <p>医療政策班では、主査は事務職でございますが、班員の中には保健師、薬剤師、理学療法士などがおります。何を担っていくかという、今ちょうど病棟の機能の見直しということで、本来医療計画というのは都道府県の業務でございますが、本市の場</p>

合には、二次保健医療圏を一つの市で構成しておりますので、千葉県に対して千葉市はどういう医療機関がどの辺にあったら良いかと提言が出来なくてははいけませんので、それを考え地域医療構想を担っていこうということが一つでございます。

また実績の中で少し申し上げました、多職種連携会議というものがあんしんケアセンターを中心に開催されておりますけれども、地域ケア会議との融合が出来ず、地域ケア会議が地域の方と介護系の方、多職種連携会議が医療系の方というふうに色が付いてしまっているのです、そこをなんとか多くの方々の顔の見える関係で一人の人を中心として必要な支援を検討するような場になって、それが積み重なって地域の課題を吸い上げることを考えて、そういったものを担っていくとしています。

地域包括支援班は、本日の部会の担当をさせていただいておりますけれども、メインに地域包括ケアシステムの中心となるあんしんケアセンターに関する業務をもってまいりまして、その他に介護予防の部分では、これまで64歳未満の方は健康作りと呼んでおりまして、65歳になると急に介護予防というふうになるわけでございますけれども、そうではなくてもっと早い時期から、ご自身の健康を考えてセルフケアを中心として、いつまでも元気でいていただくということを一緒に考えていこうということを含めて介護予防という幅広にとらえ、そういったことを担っていこうと考えております。

地域包括支援班のほうは、主査が保健師でございまして、あとは事務職になりますが社会福祉協議会様から行政事務研修生ということで一人出していただきまして、地域のことを一緒に考えていこうという体制作りをしてまいります。

まずは課の中から多職種連携を考え、ほかの政令市にも地域包括ケア推進課というところも出てきました。新潟市や岡山市にも新設されておりますが、私どものように多職種が中に含まれているというところはなかなか無いようでございますので、ぜひこれを活かしてやっていきたいというふうに思います。

取り組んでおりますのは、出来るだけ地域にスタッフが出かけて行って、地域でどのようなことが行われていて、でも何か足りないことがあるのかどうか、そういったお話を聞かせていただき、もちろん事業所さんの集まりにも参加させていただいて、とにかく現状の行われていることと課題と、今後必要なものを一緒に把握して、先ほど申し上げたとおり役所の中でも都市局や市民局等、いろいろなところで地域に向けた取り組みをしておりますので、そういうことを出来るだけ一元化して使えるサービスがスムーズに地域流れるようにやっていきたいと思っております。

壮大な思いで始まったばかりでございますので、いろいろご指導をいただければと思います。

松崎部会長

ご説明いただきましてありがとうございました。

畔上委員

教えていただきたいのですが、お泊りデイのことで県の方に伺うのですが、千葉市ではお泊りデイの届出は何事業所数ありますでしょうか。また延べ人数はわかります

<p>須田介護保険課長</p>	<p>か。</p> <p>お泊りデイにつきましては、千葉市の方で平成24年だったと思いますが、そのころに調査をしております。</p> <p>実際にデイサービス事業所に対し実施しているか調査をしたところ、その当方で40事業所ほど実施しているという結果が出ております。その後調査はしておりませんが事業所数が当時よりも増えておりますので、40からプラスアルファというようなかたちになるのではないかと思います。こちらの方は国の基準で、届出と事故報告の仕組みが定められましたので、千葉市の指定基準におきましても4月施行ということで条例の改正は行っております。このたび国の方で実際のガイドライン、行政指導をするにあたってのガイドラインが示されましたので、それをもとに千葉市におきましても行政指導指針というかたちで、概ね国のガイドラインに沿って定めるようにしております。それが6月1日施行ということで考えておきまして、現在すでにお泊りデイを実施されている事業所については、6月中に提出していただきということで280程度のデイサービス事業所に通知を出して、届出をしてもらおうと考えております。</p>
<p>畔上委員</p>	<p>ガイドラインで防火設備は謳っていますか。</p>
<p>須田介護保険課長</p>	<p>防火設備について、具体的にスプリンクラーを付けなさいといったことまでは定めてないと思います。消防法による設備を満たすことなど、一般的なところだけであったと思います。</p> <p>資料が手元にありませんのではっきりとしませんが、このような内容であると思います。</p> <p>国のガイドラインがありますので、若干千葉市の方がきつめに作っている所もごございますが同じような形で制定する予定になっています。</p>
<p>畔上委員</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>全ての議事について説明、質疑応答、承認が終了し閉会となる。</p>